

令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I. 公益目的事業 ⇒ (公1の事業)

1. 人材育成支援事業

八戸地域の産業・企業を支える人材育成を支援するため、次の事業を行いました。

(1) 技術人材養成講座・セミナーの開催、開催支援

①HCアカデミー

【目的】

地域のニーズに応じた専門的技術・技能および知識を座学や実習を交えたアカデミーとして開講し、企業内技術者の底上げを図るとともに、中核的リーダーの育成を目的とする。

【対象】

地域内企業の技術者・研究者、一般の方。

【実施内容】

八戸工業大学が実施している「ロボット横断プログラム」、工業研究所が開設している「ロボット試験室」、八戸工業高等専門学校が生徒が行っている「ろぼっと娘」の出前授業など、次世代の“ロボット熱”が高まりを見せていることに着目し、ロボット界の異才！として著名な古田氏を講師に迎え、アカデミーを行った。古田氏の考えるロボットとは。企業におけるロボット導入の考え方。将来に向けてのロボットの可能性などのお話を伺った。

講演名	演題	日程	講師	参加者
HC アカデミー —高度技術利用研究会「技術懇話会」 「現場のIT活用研究会」— (併催)	ロボット技術と未来社会	2月10日(金)	千葉工業大学 未来ロボット技術 研究センター (fuRo) 古田貴之氏	49名

【まとめ】

著名な方の講演であり、49名の参加があった。参加者の多くが製造業で自社工場の自動化、協働ロボット等に関心をもっている企業が多いものの、実際の導入までには至らない現状の中、古田氏の「技術を使って社会の課題解決」、「作って終わりではなく『人

に寄り添う』『人が幸せになる』ところまで考える」に基づいた講演は、一企業のみならず、社会全体の未来を見据えた内容であった。参加者からは「是非、続きを聴きたい」「中身が濃く、時間が短かった」等の声があり、満足度も80%を超える実りの多いアカデミーとなった。

②経営ビジネスセミナー

【目的】

経営技術の向上やビジネスチャンス拡大を図ることを目的とする。

【対象】

地域内企業の方（経営者、管理者、次世代経営者など）、行政・産業支援機関、金融機関、一般の方。

【実施内容】

- ものづくり革命を目指すスタートアップ企業として注目されているものレボ(株)の細井氏に講演頂き、必要性は感じていても立ち止まったまま感があるデジタル化・DX化について、製造業における工程管理のアプリを開発した経緯や、製品の内容、特徴、応用などについて講演頂いた。
- 大阪市にあるミシン製造メーカー(株)アックスヤマザキの山崎様を講師に迎え「生き残りをかけた大逆転劇」ということで、市場縮小の中、OEM先の廃業で売り上げの7割を失ったミシンメーカーの経営革新ストーリーをお話頂いた。どの業種にも関係する経営者の視点、考え方、発想の転換など参考となるセミナー。
- 地域内企業において、カーボンニュートラルへの取組が不可避な命題となっている中、中小企業を対象とした環境省のSHIFT事業（工場・事業所における先導的な脱炭素化取組推進事業）について、周知を目的に、概要からメリット、デメリット、申請方法までわかりやすく実践的な内容でのセミナーを開催した。講師は公的機関や業界団体向けの脱炭素化関連のセミナーを数多く開催している(株)エネルギーソリューションジャパンの田崎様に依頼した。

講演名	演 題	日 程	講 師	参加者
1. 経営ビジネス セミナー (併催)	製造現場から始めるDX ～デジタルでつながる 工場をめざして～	12月1日(木)	ものレボ(株) 細井 雄太 氏	32名
2. 経営ビジネス セミナー	～縮小市場でどう戦う？ 国内最小ミシンメーカー3代目が 生き残りをかけた 大逆転戦略とは～	1月26日(木)	(株)アックス ヤマザキ 山崎 一史 氏	24名
3. 経営ビジネス セミナー (ウェビナー)	2023年環境省 SHIFT事業で始める カーボンニュートラル ～事業概要から申請方法まで、 専門家が徹底解説！～	2月27日(月)	(株)エネルギー ソリューション ジャパン 田崎 剛史 氏	18名

【まとめ】

項 目	受講者の総合的な満足度
1. 経営ビジネスセミナー	82.7% (複数回答)
2. 経営ビジネスセミナー	82.0%
3. 経営ビジネスセミナー	50.0%

1. 自社のデジタル化、DX化のヒントが得られたとの感想が多く、デジタル化した企業が複数繋がる事で製造業全体の少量多品種化・短納期化に対応できる可能性があり、目指すべきである。また航空宇宙産業が狙い目で日本に集積している精密加工部品製造の分野での参入が期待できるとのお話であった。参加者からは「現場におけるDXの捉え方、実例を見ることが出来てよかった」「現在の潮流が把握できて良かった」等の声が聞かれた。
2. 山崎氏の軽妙な語り口で、参加者全員が引き込まれる内容であった。マシンメーカーの三代目である山崎氏の事業継承前後の考え方の違い、変化（内向き志向→外向き志向）が特に参加者の共感を得ているようであった。“お願いしてもらるのが仕事”であったが、“社会の役に立つことを実践すると結果仕事となる”。“売上がものさし”であったが、“売上を追わない”等、経営者として自社製品の見方、価値を見出している点が参考となったようである。アンケート結果からもわかるように、満足度の高いセミナーとなった。
3. まずは、情報収集の一環として聴講した方が多かった。これからカーボンニュートラルを始める中小企業にとっては有効手段ではあるが、制度が複雑で難解であるデメリット部分もあることを理解し、その対処方法を踏まえたうえで活用して欲しいとのことであった。参加者からは「SHIFT事業の検討のきっかけとなった」「自社のデータを集めることが申請するうえで重要と知った」との声があった。一方、「期待していた補助金の内容ではなかった」との感想もあり、各社の現状にあった個々の支援の必要性を感じた。

③学生・生徒のものづくり企業訪問ツアー（学生・生徒リモート企業見学会）

【目 的】

地元企業の良さ、魅力を感じてもらうことにより、より優秀な人材の地元定着を図ることを目的とする。

【対 象】

地域内企業。地域内の工業系高等学校の生徒。

【実施内容】

見学先	日 程	参 加 校	参加者（生徒）
<ul style="list-style-type: none"> ・住友化学(株) 三沢工場 ・(株)田名部組 ・(株)サライズ エンジニアリング ・旭光通信システム(株) <p style="text-align: center;">八戸事業所</p>	7月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸工業高等学校 ・十和田工業高等学校 	38名

【まとめ】

項目	県内就職の参考にしたかった	リモートでの見学会に興味があった	地元企業についての情報収集
リモート企業見学会参加動機	58%	11%	45%

項目	就職についてのイメージを持てた	就職先候補の一つとなった	地元企業に対するイメージが向上した
リモート企業見学会全体の感想	58%	42%	58%

コロナ禍であることを考慮し、昨年度に引き続きリモートでの企業見学会を行った。見学先は、各学校の希望と事務局で選定した4社となった。特に普段見学させていない箇所や作業音で説明を受けても聞き取れない箇所があってもリモートの良さを活用し、見学できたのが良かった。

学校側（生徒の声）：4企業の話が聞けて候補（就職先）になった。映像で現場の雰囲気や説明が分かりやすかった。わかりやすく、仕事に対する意識を持つことができた。

学校側（教諭の声）：質問タイムが無ければ良い企画でした。地元企業を数社知ることが出来て良い機会になった。

(2) 人材教育用教材（DVD・VHS）貸出業務

- ・対象：圏域内企業等
- ・VHS：27タイトル92本
- ・DVD：2タイトル9枚
- ・利用数：無し

(3) 各種講演会、セミナー（共催・後援・協賛）

【目的】

高度技術の習得、人材育成に関する講演会、セミナー、研修会等を開催し、人材育成の一助とする。

（主催、共催、後援 協賛）

【対象】

地域内企業の技術者・技能者、一般の方

【実施内容】

講演名	演題・内容	日 程	講 師
八戸工業高等 専門学校 非常勤講師	・担当科目 「品質、生産管理」	4月5日（火） ～3月9日（木）	事務局長 松坂 洋司
ポリテクセンター 生産性向上 支援訓練	・中小企業ができる SDGsの取り組み	7月27日（水）	産業能率大学校 兼任講師 黒田 浩介 氏
ポリテクセンター 生産性向上 支援訓練	・生産計画と工程管理	9月21日（水）	(株)日本能率協会 TPM コンサルタント 中西 浩明 氏
ポリテクセンター 生産性向上 支援訓練	・原価管理とコストダウン	11月14日（月）	(株)M×E コンサルティング 松嶋 清秀 氏
ポリテクセンター 生産性向上 支援訓練	・RPAを活用した業務効 率化・コスト削減	2月3日（金）	(株)パワートレイン 代表取締役 森 顕一 氏

2. 連携支援事業

八戸地域の産学官連携・交流促進のため、次の事業を行いました。

(1) 企業視察会（見学会）

【目 的】

県内外の産業を視察、見学することにより、異業種交流を活発にし、当地域産業の更なるビジネス展開を図る。

【対 象】

地域内企業の方、学・官・金、一般の方。

【実施内容】

1. 企業視察会（見学会）
2. リモート工場視察会（見学会）

行 事 名	視 察 先	日 程	参加者
1. 企業視察会	むつ小川原開発地区 (量子科学技術研究開発機構 六ヶ所研究所 他)	6月24日（金）	25名
2. リモート 企業視察会	石田精工(株)（大阪府東大阪市） (株)吉田製作所（兵庫県西宮市）	12月1日（木）	32名

【まとめ】

1. 地域産業の脱炭素化に向けた参考とするため、「むつ小川原開発地区」の視察会を行った。

- ・量子科学技術研究開発機構六ヶ所研究所
- ・ユーラス六ヶ所ソーラーパーク
- ・風力発電施設群

特に、マイクロ波による熱処理について、脱炭素に向けた技術として関心を集めていた。また、風力発電に関する設備のメンテナンスにドローンを活用できないか。など、新たなビジネスチャンスのヒントになった参加者もみられた。

2. 第1回技術懇話会（併催：第1回経営ビジネスセミナー）の講師である 物のレボ(株) 代表取締役細井氏が推し進める工場 DX アプリ「ものレボ」を導入した企業2社をリモートで視察し、導入事例と効果をお話いただき、その後、細井氏を交えて意見交換を行った。

- ・石田精工(株)（建設機械、農業機械、エアツール等の各種金属部品加工業）
- ・(株)吉田製作所（びん金型製造、各種金属部品加工、産業用機械の設計、組立）

(2) 大学・高専等連携事業

現場にヘルプ プロジェクト

【目的】

地域の大学・高専等の教職員、学生を対象に、テーマがマッチすると思われる企業・公設試・弁理士等とを仲介し、企業における産学の事業化推進に努める。

【対象】

八戸地域の大学・高専の教職員、学生（北里大学獣医学部、八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校）

【実施内容】

地域内の大学・高専等に対し、4月に事業の告知、7月に募集を開始したが、申し込みはなかった。

(3) 連携促進・コーディネート支援

①経営戦略出張相談会

相談者5社（5名）

【目的】

小出宗昭事務所代表の小出宗昭氏をお招きしての売上アップ、販路拡大、起業・創業相談会。実績のある支援家との相談・ディスカッションで新たな切り口、将来の方向性に気付くことにより各社の課題解決を図る。

【日時】

令和4年7月12日（火）9：00～14：30

【対 象】

地域内の企業の方、又は起業・創業希望者

【相談者】

	業 種 等	相 談 内 容
1	食品 OEM、PB 商品受託生産、 小売業（南部町）	ターゲットへのアプローチ方法、宣伝ツールのアイデア の相談
2	ドローンによる各種撮 影・編集、ドローン教室 （八戸市）	販路拡大の手法・切り口、全国の同業者の成功事例の相談
3	農業経営（南部町）	費用をかけない販路拡大と売上アップについての相談
4	ホテル業（八戸市）	会議室・ホール等の使い道、売り方。地方のホテルの成功 事例について
5	水産加工品製造業 （八戸市）	新規事業における可能性と PR 方法についての相談

②産業情報収集活動・マッチング、コーディネート活動

行 事 名	内 容	日 程
「八戸地域新ゼロエミッション 連絡協議会」 設立総会・第 1 回連絡協議会	<p>【第 1 部】 設立総会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 準備委員会議事報告 4. 閉会 <p>【第 2 部】 第 1 回連絡協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「むつ小川原とエネルギー事業の紹介」 新むつ小川原(株) 野口 卓記 氏 量子科学技術研究開発機構 林 巧 氏 2. 「ENEOS の水素の取り組みについて」 ENEOS(株) 前田 征児 氏 	4 月 21 日(木)
令和 4 年度青森県企業誘致 推進協議会総会 (書面での開催)	<p>【総会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度事業報告(案) 及び収支決算(案) について ・規約の一部改正(案) について ・令和 4 年度事業計画(案) 及び収支予算(案) について 	—
令和 4 年度 第 1 回三八地域協働ロボット 利活用促進検討会	<p>【事業概要及び令和 4 年度取組予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボット利活用検討会による普及啓発 ・ロボット専門人材の育成支援 	6 月 10 日(金)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットシステムのモデル構築による導入促進 【委員からの情報提供】 ・ロボットモデルシステム構築途中経過 ・企業へのアンケートによるロボット関係回答結果の報告 ・市内中小企業でのロボットへの関心度の報告 ・八戸工業大学でのロボットへの取組 ・八戸高専でのロボット教育への実情 【議事】 ・令和4年度の取組内容に関する意見交換 ・上記以外の取組に関する意見交換 	
アイピー倶楽部 令和4年度総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告及び収支決算書 ・令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案) ・役員改選 	8月4日(木)
保護者のための Uターンセミナー	<p>【第1部】セミナー</p> <p>1. 「本当に必要な親の支援の在り方」 (合同) 浜と山と 風間 一恵 氏</p> <p>【第2部】トークセッション</p> <p>1. 「コロナ禍のUターン就職事情と保護者ができる寄り添い方」 (合同) 浜と山と 藤 加奈子 氏 (株)吉田産業 中山 明子 氏 プライフーズ(株) 山本 怜央 氏 八戸学院大学・短期大学 玉川 哲也 氏</p>	8月6日(土)
令和4年度 創業支援関係者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市創業支援等事業計画の令和3年度の実績について ・八戸市創業支援等事業計画の変更申請について ・今年度の各支援機関の取組について ・その他情報交換 	8月9日(火)
地域 IT 企業との DX ソリューション勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介及び企業紹介 ・各社におけるDXの取組状況報告 ・意見交換 ・その他 	8月17日(水)
デーリー東北 リクルートラウンジ2022	<p>【企業内容説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デーリー東北新聞社主催 	8月20日(土)

<p>「企業内容説明会」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北奥羽で事業活動を展開している企業の事業内容や職場環境の情報発信の場 ・高校生以上の学生、既卒業生、既社会人及びその家族が対象 ・地元への定着、U I J ターン者、転職者、家族への就職情報提供 ・ブース説明企業=40 社 ・ブース聴講者数=延べ 166 名 ・進学お役立セミナー 	
<p>地方創生テレワークセミナー (W e b 視聴)</p>	<p>【講演】 「企業が地方進出の際に自治体に期待することは？」 (株)Ruby 開発 芦田 秀之 氏</p>	<p>8月25日(木)</p>
<p>令和4年度 第2回三八地域協働ロボット 利活用促進検討会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・取組報告 <ul style="list-style-type: none"> ①三八地域県民局地域連携部 15分 ②八戸工業研究所 15分 ・第1回セミナーの感想の共有や講師との情報・意見交換 ・閉会 	<p>9月7日(水)</p>
<p>勝ち残る！ ウィズコロナ・アフターコロナ の人財確保策 採用活動デジタル化フォーラム (W e b 視聴)</p>	<p>【フォーラム】 第1部 「ウィズコロナ時代の生き残り採用戦略」 (株)パソナ東北創生 林 光人 氏 ①コロナで起こった採用活動の変化 ②採用戦略1 UIJ ターン者を取り込む ③採用戦略2 採用活動におけるデジタル化の推進 第2部 「コロナ禍で変化する青森のワークスタイル」 NPO 法人あおもり IT 活用サポートセンター 本田 政邦 氏</p>	<p>9月29日(木)</p>
<p>あおもり産学官金 共創フォーラム (W e b 視聴)</p>	<p>【授賞式】 「あおもり産学官金連携 イノベーションアワード2022」 【セミナー】 「産学官金による地域共創に向けて」 (地独) 青森県産業技術センター理事</p>	<p>11月1日(火)</p>

	<p style="text-align: right;">内沢 秀光 氏</p> <p>(1) 「産」の取組～受賞企業による取組紹介 (2) 「学」の取組～大学による地域共創に向けた取組紹介 (3) 「金」の取組～金融機関による地域共創に向けた取組紹介</p>	
<p style="text-align: center;">悩める経営者・ アトツギ・支援者のための 価値デザインセミナー 「自社の価値を見える化」 させるメゾット (Web視聴)</p>	<p>【第1部】 「投資家&金融機関から見る！人材、資金調達・協業先に選ばれる企業の魅力とは？」 カーライル・ジャパン・エルエルシー 渡辺 雄介 氏 (一社) 日本金融人材育成協会 森 俊彦 氏</p> <p>【第2部】 『デザイン思考で』自社の資産・価値を深掘りして新たに見えた可能性&挑戦領域価値デザイン手法（経営デザインシート）とは？」 東北大学大学院工学研究科 本江 正茂 氏 日本知財学会経営デザイン分科会 近藤 泰祐 氏</p>	11月9日(水)
<p style="text-align: center;">テクノルデイズ2022 オータムセミナー 「DXはじめの一步！kintone を活用した DX実践事例紹介セミナー」 (Web視聴)</p>	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DXの本質おさらい 2. kintone とは 3. kintone を活用した DX 実践事例紹介 (3社) 	11月17日(木)
<p style="text-align: center;">「八戸地域新ゼロエミッション 連絡協議会」 第2回連絡協議会</p>	<p>【協議会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 上期事業報告 4. 各社報告及び検討 <ul style="list-style-type: none"> ・大太平洋金属株 ・東京鐵鋼株八戸工場 ・八戸製鍊株八戸製鍊所 ・三菱製紙株八戸工場 ・八戸セメント株 5. 閉会 	11月24日(木)

<p>青森県航空宇宙産業研究会 総会・講演会</p>	<p>【講演】 「空飛ぶクルマの概要とものづくり」 (株)日本政策投資銀行 岩本 学 氏</p>	<p>11月29日(火)</p>
<p>令和4年度 「県誘致企業との懇親会」 (三八地域)</p>	<p>【意見交換会】 最近の景況、青森県で操業する上での課題、 所属する業界の現状、県への意見・要望等 について 【名刺交換・フリータイム】</p>	<p>1月13日(金)</p>
<p>SHIFT事業セミナー (Web視聴)</p>	<p>【内容】 1. 令和5年度環境省事業の紹介 2. 令和4年度SHIFT事業の概要 3. 脱炭素化支援事例(3例) 4. 今後のスケジュール</p>	<p>1月17日(火)</p>
<p>東北オープンファクトリー フォーラム vol.1 (Web視聴)</p>	<p>【基調講演】 「産業観光を通して、持続可能な地域をつくる。～RENEWの取組～」 TSUGI LLC. 新山 直広 氏 「多様でオープンな交流から次代の創造性が 生まれる京都へ～DESIGN WEEK KYOTOの挑戦 ～」 (一社) Design Week Kyoto 実行委員会 北林 功 氏 【パネルディスカッション】 「「魅せる」ことで地域に生まれる“変化”や “新たな価値”を探る」 ・東北地域の取組紹介①② ・テーマ1：立ち上げフェーズの苦労、心掛け ・テーマ2：地域の変化・新たな価値を探る ・テーマ3：地域の変化・価値最大化の秘訣</p>	<p>1月25日(水)</p>
<p>令和4年度 第2回 三八地域ロボット導入 支援セミナー</p>	<p>【講演】 内容：「ロボットフレンドリーな環境づくりに 向けて私達に求められること」 経済産業省製造産業局 板橋 洋平 氏 内容：「自動搬送ロボットを導入した紳士服メ ーカーの自動化の取組」 (株)センチュリーテクノコア 森本 尚孝 氏 内容：「倉庫・工場内等で活躍する物流運搬を</p>	<p>2月2日(木)</p>

	<p>支援する台車型ロボット「CarriRo」の紹介 (株)ZMP 谷口 恒 氏 内容:「令和4年度ロボットシステムモデルの紹介」 (地独) 青森県産業技術センター 八戸工業研究所 鈴木 翔一 氏</p>	
<p>令和4年度 「革新的ものづくり企業連携 交流サロン」</p>	<p>【講演】 「中小企業がデジタル化を進めるにあたってポイント」 (公財) 21 あおもり産業総合支援センター 佐藤 順一 氏</p> <p>【事例発表】 「自社におけるデジタル化の取組について」 (株)上村保温 上村 克彦 氏 (有)クリーニングイルカ 平山 佳子 氏</p> <p>【パネルディスカッション】 弘前大学 上平 好弘 氏 (公財) 21 あおもり 佐藤 順一 氏 (株)村上保温 上村 克彦 氏 (有)クリーニングイルカ 平山 佳子 氏 (株)アイティコワーク 岡本 信也 氏</p> <p>【国経済政策に係る情報提供】 東北経済産業局 地域サポーター 青森県チーム</p>	<p>2月3日(金)</p>
<p>令和4年度IoTワークショップ 「リアル工場IoTアイデアソン&ハッカソン」成果報告会 (Web視聴)</p>	<p>【成果報告会・あいさつ】 工業総合研究所 内沢 秀光 氏 青森県新産業創造課 栗島 宣郎 氏</p> <p>【IoTワークショップの概要】 工業総合研究所電子情報技術部 宮下 育也 氏</p> <p>【成果報告】 「パイプ加工進捗モニターの開発」 (株)マリン・ワーク・ジャパン 横田 牧人 氏 (株)青森共同計算センター 福士 寛人 氏 三共計測プラス(株) 三橋 知巳 氏 工業総合研究所 三浦 和麻 氏 宮田 和弥 氏</p>	<p>2月13日(月)</p>

<p>東北オープンファクトリー フォーラム Vol.2 (Web 視聴)</p>	<p>【基調講演】 「燕三条は工場の人をつなげる～新潟県燕三条の取り組み～」 株玉川堂 山田 立 氏 「まちが、こうばがエンターテインメントに変わる！～FactorISMの取り組み～」 株友安製作所 松尾 泰貴 氏</p> <p>【パネルディスカッション】 テーマ：『魅せる』ことで地域に生まれる“変化”や“新たな価値”を探る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の取組紹介 i. ii ・ディスカッションテーマ1：立ち上げフェーズの苦勞、心掛け ・ディスカッションテーマ2：地域の変化・新たな価値を探る ・ディスカッションテーマ3：地域の変化・価値最大化の秘訣 	<p>2月17日(金)</p>
<p>地域企業の現状・課題等に関するアンケートの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・送付件数=274件 ・回答数=66件 ・回答率=24.08% 	<p>1月24日(火) ～ 2月6日(月)</p>
<p>令和4年度 八戸高専自主探究ポスター 発表会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生自らがテーマを設定し、方針を決め研究を遂行する「自主探究活動」 	<p>2月21日(火) ～23日(木)</p>
<p>「あおもり共創ビジネス プログラム成果報告会」 (Web 視聴)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業趣旨の説明 ・成果発表 <ul style="list-style-type: none"> 1. 全体説明 2. 株小坂工務店(三沢市) 3. 環境緑花工業株(八戸市) 4. (合) マルカネ(八戸市) ・講評 	<p>3月15日(水)</p>
<p>企業訪問 マッチング支援・情報収集等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市(株ミナミ、特養老人ホーム瑞光園、なんぶ農援株、株池田介護研究所、フライトムービー、株マルヌシ、株suvaica 八戸グランドホテル、沼畑総合ファーム、八戸住宅倶楽部フタガミ、三沢エンジニアリング株、環境緑花工業株、八戸地域社会研究会) ・十和田市(オトミチ硝子株) ・六戸町(青森県産業技術センター野菜研究所) 	<p>通 年</p>

	・その他（秋田県立大学、21 あおもり産業総合支援センター、青森県産業技術センター工業総合研究所）	
--	---	--

③青森県IM（インキュベーション・マネージャー）活動

行事名	内容	日程
青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会 令和4年度総会及び 第1回スキルアップ研修会	【総会】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和4年度事業計画（案）について ・会長改選について ・その他 【研修会】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度IM養成研修受講者報告 ・スタートアップアテンダント紹介 ・質疑応答、意見交換 	7月7日（木）
東北IM連携協議会総会 ワークショップ In 青森	【総会】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算報告について ・令和4年度事業計画（案）について 【ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「JBIAの活動について」 （一社）JBIA 会長 星野 敏 氏 ・報告「青森県の創業支援施策と実績」 青森県地域産業課 小笠原 佑介 氏 ・情報提供 ・BI/IMワークショップ ・ワークショップ報告・質疑 	7月7日（木）

④ゼロエミッション関連活動

行事名	内容	日程
「ゼロエミセミナー 2022」	【セミナー・質疑応答】 <ul style="list-style-type: none"> ・施策説明 経済産業省経済産業局 中村 光一 氏 ・セミナー ㈱JERA 渡辺 翼 氏 （久田氏・吉國氏） 岩谷産業㈱ 天野 克哉 氏 ・研究発表 八戸工業高等学校「チームマテリアル」 	11月24日（木）

3. 研究開発支援事業

研究開発の促進を図るため、次の事業を行いました。

(1) 技術人材研修助成事業・・・7件

決算額 342,580 円（予算額 1,250 千円）

通番	申請企業	内 容	助成額
1	(株)サンライズ エンジニアリング	1 M 1 1 0 プレス金型設計製作のトラブル 対策	130,000円
2	広和計装(株)	有接点シーケンス制御の実践技術	8,500円
3	(株)テクトリー	現場のための電気保全技術（機械編）	7,500円
4	広和計装(株)	PLCによるタッチパネル活用技術	30,900円
5	(株)テクトリー	NC旋盤プログラミング技術	18,000円
6	(株)コネクト グローバル	TPiCS—X5.0 研修会	50,000円
7	(株)住吉工業	溶接・複合技術基礎セミナー	97,680円

(2) 研究開発資金助成事業（申請企業2社）

◎「技術開発審査委員会」

日 時：令和4年7月22日（金）13：30～

場 所：八戸インテリジェントプラザ 2階「アイピーホール」

開発案件審査及び質疑応答

助成額 2,000,000 円（予算額 2,000 千円）

通番	申請企業	研究開発テーマ	助成額
1	沼畑総合ファーム(株)	小規模農家における農業DXの実現に 向けた取り組み ～ドローンによる小規模圃場への農薬 散布と鳥インフルエンザ予防の為に鶏 舎消毒の省力化～	1,000,000円
2	(株)プラスラボ	カルシウムイオン水の稲作防除の開発	1,000,000円

4. 情報提供事業

高度技術・研究開発・連携促進支援の情報提供のため、次の事業を行いました。

(1) 情報誌の発行（各号1,100部）

「てくのろじい・AKROS合併号第117号」令和4年6月30日発行

「てくのろじい・AKROS 合併号第118号」令和4年9月30日発行
「てくのろじい・AKROS 合併号第119号」令和4年12月28日発行
「てくのろじい・AKROS 合併号第120号」令和5年3月28日発行

(2) 八戸地域への情報発信

HPを随時更新、充実させ、より迅速な情報提供に努めた。また地域内を対象とした他団体主催の講演会、セミナー、各種補助金等の情報発信を行った。

1. “HCからのお知らせ” として
 - 「各種補助金、助成金のお知らせ」
 - 「各種セミナー、講演会、研修、展示会のお知らせ」
 - 「その他情報提供」・・・年間81件（メール）
2. 業務としての情報発信
 - ・ ㈱八戸インテリジェントプラザ・・・2回 郵送業務
 1. 「八戸IP知的財産リーフレット・シリーズNo.43.44」
 2. 知的財産セミナー開催案内
 - ・ NPO法人北さんりく創研・・・2回 メール発信業務
 1. 地域づくりを語る会「地域の宝を活かす」
 2. 地域づくりを語る会「持続可能な農山林地域の将来を考える」

II. 収益事業 ⇒ (収1の事業)

1. 受託事業

建物管理受託業務

受託事業として、株式会社八戸インテリジェントプラザの所有する建物に付随する運営事務の一部を受託し、完了した。

III. その他事業 ⇒ (他1の事業)

1. 「高度技術利用研究会」の運営事業 連携支援事業（共益）

八戸地域の産学官連携・交流促進、新産業創出のため産学官で組織する「高度技術利

用研究会」の運営、研究会独自のテーマ別研究会を継続して支援した。

◎監査会/役員会

行 事 名	内 容	日 時	出 席 者
監査会	1. 令和3年度の活動状況説明 2. 令和3年度の決算書説明 3. 会員・委員の状況について 4. 決算書及び関係書類監査	6月1日(水)	監事：中村 昭則 氏
第1回役員会	1. 令和3年度の活動状況及び 収支決算について 2. 令和4年度の活動計画案及び 予算案、会員の状況について	6月1日(水)	会長：赤垣 友治 氏 副会長：関口 力 氏 監事：中村 昭則 氏
第2回役員会	1. 令和4年度の活動状況及び 2. 次年度の活動のポイントや 実施方法等について	2月10日(金)	会長：赤垣 友治 氏 副会長：関口 力 氏 監事：中村 昭則 氏

◎総会・技術懇話会・活動報告会

行 事 名	内 容	日 時	参加者
総 会	<p>【議案】</p> <p>1. 令和3年度活動状況及び令和3年度収支決算、並びに会員企業・委員の状況について</p> <p>2. 令和4年度活動計画(案)及び令和4年度収支予算(案)について</p> <p>【報告事項】</p> <p>「高度技術利用研究会」管理事務に関する契約の更新について</p> <p>【特別講演】</p> <p>演 題：「豊かな生活とビジネスが両立できる地方型産業の創造」</p> <p>講 師：(株)フォルテ 葛西 純 氏</p>	7月8日(金)	32名
第1回 技術懇話会 (併催)	<p>【講演】</p> <p>テーマ：製造現場から始めるDX ～デジタルでつながる工場をめざして～</p> <p>講 師：ものレボ(株) 細井 雄太 氏</p>	12月1日(木)	32名
第2回 技術懇話会 (併催)	<p>【講演】</p> <p>テーマ：ロボット技術と未来社会</p> <p>講 師：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター (fuRo) 古田 貴之 氏</p>	2月10日(金)	49名

活動報告会	1. 高度技術利用研究会 活動状況報告 2. 【特別講演】 テーマ：「計装制御」ローカルトップを目指し、 そしてセカンドステージへ 講師：広和計装(株) 三浦 幸廣 氏	3月7日(火)	29名
-------	--	---------	-----

◎会員に対する各種サポート

1. 会員企業が実施するプロジェクトや販路開拓支援 予算額：400,000円
利用状況：申請なし。
2. 会員企業が参加するセミナー・講習会受講料支援 予算額：400,000円
利用状況：

通番	申請企業	セミナー名称	補助額
1	広和計装(株)	作業手順の作成によるノウハウの継承	6,600円
2	(株)アケア	組織力強化のための管理	9,900円

◎パンフレット改訂

高度技術利用研究会のPRのため、従前のパンフレットの内容を刷新し、Web版として、高度技術利用研究会のホームページに掲載した。

◎会報誌の発行

令和4年7月13日 発行した。

◎テーマ別研究会

1. 現場のIT活用研究会
・活動内容

	内 容	日 時	参加者
第1回 (併催)	【講演】 製造現場から始めるDX ～デジタルでつながる工場をめざして～ 講師：ものレボ(株) 細井 雄太 氏	12月1日(木)	32名
第2回 (併催)	【講演】 テーマ：ロボット技術と未来社会 講師：千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター (fuRo) 古田 貴之 氏	2月10日(金)	49名

2. ものづくり産業を語る会

・活動内容

	テーマ&内容	日 時	参加者
第1回	テーマ：当地域「モデル企業」から、地域企業の未来を考える ～魅力ある会社・働きたい会社・希望ある会社～ 講 師：旭光通信システム(株) 代表取締役 酒井 元晴 氏 内 容：①酒井社長プレゼンテーション 第二工場（新工場）見学 ②質疑応答およびディスカッション	11月18日(火)	10名
第2回	テーマ：「環境省 SHIFT 事業への疑問・質問、自社のカーボンニュートラルへの取組みの中での課題等についての意見交換」 講 師：(株)エネルギーソリューションジャパン 代表取締役 田崎 剛史 氏 内 容：参加各社より自社のカーボンニュートラルへの取組と、SHIFT 事業の活用方法についての意見交換	2月27日(月)	5名

IV. 法人事業

公益財団法人八戸地域高度技術振興センターの円滑な事業運営のため、次の会議を開催しました。

【監査会】 法人の事業報告及び決算資料の作成と監査報告の作成

日 時：令和4年5月17日(火) 10:00～

場 所：八戸インテリジェントプラザ 3階「研修室」

監 査：令和3年度事業報告について

令和3年度財務諸表について

残高証明書照合

監査報告書署名捺印

【理事会】 法人の業務執行の決定、理事の職務執行の監督等

第42回理事会

日 時：令和4年5月25日（水）11：00～

場 所：八戸インテリジェントプラザ 2階「アイピーホール」

議 案：令和3年度事業報告の承認について

令和3年度決算書類の承認について

令和4年度定時評議員会の招集について

報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について

第43回理事会（決議省略）

日 時：令和4年7月4日（月）

議 案：理事長・副理事長・専務理事の選定について

第44回理事会（決議省略）

日 時：令和5年1月27日（金）

議 案：第33回臨時評議員会招集の件

第45回理事会

日 時：令和5年3月22日（水）

議 案：令和5年度事業計画について

令和5年度収支予算について

報告事項：資金調達及び設備投資の見込みについて

代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について

【評議員会】 法人の基本的な業務執行体制、業務運営の基本ルールの設定

第31回定時評議員会

日 時：令和4年6月22日（水）

議 案：令和3年度決算書類の承認について

任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任について

報告事項：令和3年度事業報告について

第32回臨時評議員会（決議省略）

日 時：令和4年11月29日（火）

議 案：補欠評議員1名、補欠理事1名、補欠監事1名の選任について

第33回臨時評議員会

日 時：令和5年3月22日（水）

議 案：令和5年度事業計画の承認について

令和5年度収支予算の承認について

報告事項：資金調達及び設備投資の見込みについて

【担当課長会議】

八戸地域9市町担当課長への経営状況報告

日 時：令和4年7月7日（木）

報告内容：令和3年度事業報告及び決算資料

令和4年度事業計画及び予算資料

令和3年度出損金取崩額（決算）のお知らせ